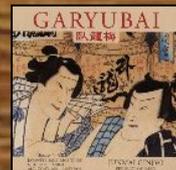


# 『臥龍梅』 蔵便り

平成二十九年五月



拝啓 いよいよ新緑の候となりました。今年のゴールデンウィークは如何お過ごしだったでしょうか。



今月もご報告することが盛りだくさんです。4月15日(日)、恒例の**日本橋エリア日本酒利き歩き**に参加しました。今年は人形町の老舗料亭、**よし梅本店**さんに場所を借りて参加しました。**美人の若女将、多身予**さんが切り回す粋な佇まいのお店です。2時にスタートしてびっくり、押すな押すなのお客様が途切れることなく続き、6時の終了までひたすらお酒を注ぎっぱなしでした。**開壇十里香の袋吊り**をはじめ一升瓶を48本ご用意したのですが、途中で足りなくなってお酒屋さんにお酒を追加で届けてもらったほどです。その翌週、22日(土)には**女優利き酒師の福山亜弥**さんのプロデュースするほっこり利き酒会に参加しました。場所は赤坂東急ホテル14階の**赤坂シバングススーパーダイニングなだ万**です。こちらは懐石料理と8種類の臥龍梅を合わせて愉しむ50名弱のゆったりしたお酒の会でした。後でお客様のアンケートを集計したところ、五百万石60%の純米酒(お燗で提供)、愛山45%の開壇十里香、備前雄町50%の純米大吟が人気ベスト3でした。つつがなく会が終了してお客様をお見送りしていたところ、人気落語家の**春風亭昇太**さんがお顔を見せて下さいました。近くのTBSでTV番組の収録があったので会には間に合わなかったけれど何とか駆けつけて下さったのだそうです。お話をうかがってびっくり、師匠は弊社のすぐご近所、静岡市清水区高橋のご出身なのだそうです。その翌23日(日)には、静岡市内の料亭、**大花**さんで**飯倒し**(こしきだおし)の宴会を催しました。そう、前々日の21日(金)に最後の87号の留を仕込んで仕込みが無事終了したのです。昨年

の9月21日に蔵入りして以来ちょうど7か月、長い長い道のりでした。上槽、火入れとまだ作業は残っており岩手に帰るのは約1か月後のこととなりますが、ここまでくれば九割がた終了したのも同じです。そこで長い間頑張ってくれた蔵人の皆さんのご苦勞をねぎらうために、今年は威勢よく清水の芸妓衆を上げてぱっと騒ごうということになりました。芸者さんとお座敷遊びに興ずる杜氏さんと頭さんのこの楽しげな姿をご覧ください。今年は何の仕込みも素晴らしいお酒に仕上がりました。ちなみに先に発表された**第98回南部杜氏自醸清酒鑑評会**では静岡県でただ1社、臥龍梅が、吟醸の部、純米吟醸の部、純米の部の**三部門に入賞**いたしました。最後に**第8回臥龍梅を愉しむ会**のご案内です。8月20日(日)12:00開宴、場所は恒例の東京都江東区清澄庭園内大正記念館、会費は4,000円です。お申込みは [sanwa@garyubai.com](mailto:sanwa@garyubai.com) または FAX 054-366-0380 まで。



さて、今月は**純米吟醸、涼風夏酒**に加え、**純米吟醸 天空の誉富士、山田錦55%の純米吟醸袋吊り**をご案内いたします。2アイテムとも数量限定の希少なお酒ですので早い者勝ちです。

季節の変わり目のことゆえお体には十分お気をつけください。

敬具

平成29年5月吉日

鈴木 克昌